

令和7年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第10回議事録（要旨）

日 時：3月31日（火）午後6：30～7：30

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者（会場）：委員9名

（牛田委員、大上委員、高橋委員、田村委員、北山委員、猿渡委員、
大野委員、林委員、根本委員）

事務局：3名

1 開会

2 議題

（1）令和8年度 憲法月間記念行事について【資料1】

- ・事務局より憲法月間記念行事について説明。
- ・絵手紙の実行委員会賞を選出。

（2）令和8年度 夏季平和事業について【資料2】

- ・事務局より夏季平和事業について説明。

（3）1年間のふり返り

【林委員】最初は不安だったが、みなさまに支えていただき1年間を終えることができた。平和について考える機会となり、この実行委員会での経験は成長につながったと感じている。

【根本委員】実行委員の募集を偶然見つけて応募した。発言するより聞いている時間が長かったと思うが、この実行委員会に参加するまであまり考えてこなかった平和について、自分で考える経験ができて良かった。

【大野委員】中高生と一緒に長崎へ行けなかったことは心残りだが、平和について考える時間を多くとれて良かった。今後も平和と向き合っていくことを忘れず、市民として、この機会を通して考えたり学んだりしたことを還元していけたらと思う。

【猿渡委員】財政的に厳しい状況にある平和関連の施設等が多い中で、このような活動を続けられて、非常に恵まれていると思っている。市が子ども向けパンフレットを作成したことも良かったと思う。

【北山委員】体験者の委員や、けやき会の方の意見を聞けるというのも、この実行委員会への参加意欲につながっている。ライフワークでもあるので、これからも、できる限りのことをやっていきたい。

【牛田委員】活動を長年続けてきた中で、段々と広がってきたと感じているが、一方で、アンケート結果を見ると11月24日の平和の日のことを知らない人もまだまだ多いとも感じている。やはり、記録を残して共有していくことは重要。今年度の平和の日イベントは大学生委員の発案で形になり、内容も含めて良かったと思っている。

- 【大上委員】 地域活動で関わりのあった方から誘われたのがきっかけで、この活動に関わり始めた。専門分野でもなく、わからない状況からスタートしたが、何年もかけて学ばせてもらい、今も毎年学ばせてもらっている。研修で丸木美術館へ行けたことも良かった。今年度特に良かったのは、大学生委員が活躍してくれたこと。学生のアイデアがイベントで形になったというのは初めてではないかと思う。SNSで発信されている情報を見ていると怖いと感じることが増えており、若い世代にも平和について考えていってほしい。
- 【高橋委員】 この実行委員会に3年間参加してきたが、各委員が侃々諤々の議論をして、様々な違いを対話で乗り越えていくというのを小さな会議室の中でも感じ、非常にいい経験ができた。そのように話す場があるということが、武蔵野市らしくて素敵だと思う。会議室の中で理想を語ることは簡単だけど、現実はそのほど簡単ではないと感じつつ、だからといってこの場で話すことは無駄ではないという思いを持ちながら参加してきた。
- 【田村委員】 戦争体験者の生の声を聞けるタイミングもあり、多くのことをまなばせてもらっていると思っている。この平和事業や取組みが語り継がれ、繋がっているという感覚を持ち続けられるようなイベント等ができるとう良いなと思っている。実行委員会で皆さんとディスカッションできたことは楽しかった。
- 【事務局】 皆様のご協力があり、事業を実施できたと思っている。来年度も今回の委員会等で出た課題等を生かしつつ、引き続き皆様のご協力を得ながら事業実施できればと考えている。
- 【事務局】 自分自身にとっても学びになり個人的にも良い機会になった。委員会だけで年間10回、さらにイベントにも参加していただき、皆様のご協力おかげで1年間やってこられたと感じている。
- 【事務局】 様々なご意見があり、必ずしも全てがすっきり解決できるわけではないが、それぞれの話を尊重しつつ、その中で、一番良いと思われる方向を模索することができているのは非常にありがたいと感じている。リーフレットの作成にあたっては、実行委員会にもご協力いただき感謝している。来年度の実行委員会では、活用についてもご意見をいただければと思う。

(4) その他

- ・謝礼の振り込みについては、令和8年4月中に行う。
- ・事務局より今年度活動の感想文の作成を依頼。200～300文字程度で作成し、4月24日（金）までに事務局へ。

3 閉会